月　日　名前　　／50点

【答え】

【中3】国語 文章テスト　説明文 1/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

知らない町へ行く前に、私たちはたいてい、写真や口コミで下調べをする。行ってみると、たしかに写真と同じ景色がある。それなのに、なぜか写真で見たときとは違う印象を受けることが多い。

写真に写っているのは、その場所の一部分である。撮った人が選んだ向きから、選んだ瞬間を切り取ったものだ。そこには、写真の外側にあるもの、たとえば、道のにおいや、遠くから聞こえる音や、歩いたときの坂の重さは入っていない。私たちが写真から受け取るのは、撮った人の目を通して選ばれた情報なのである。

これは、写真だけのことではない。本や記事、人から聞いた話も、誰かが見たり考えたりしたことを、言葉にして伝えたものだ。どれほど正確に書かれていても、そこには必ず、伝えた人の選び方が入っている。何を伝え、何を伝えなかったかという選択である。

もちろん、情報を通して世界を知ることは大切だ。自分の目で見られる範囲はかぎられている。遠い国のことも、昔のことも、私たちは他人の目を借りて知るしかない。問題は、借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこんでしまうことである。

自分の目で見るとは、ただ現地に行くことではない。受け取った情報が、誰かの選択を通ったものだと意識しながら、自分でも選び直してみることだ。写真には写っていなかったものは何か。記事が書かなかったことは何か。そう問いながら見るとき、借りた目は、自分の目を育てる手がかりに変わる。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　筆者は、私たちが写真から受け取るのはどんな情報だと述べていますか。「～情報」につながるように、本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

撮	った	人	の	目	を	通	して	選	ばれ	た									

問二（十点）　第二段落で、筆者が道のにおいや遠くの音、坂の重さを挙げたのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　写真の外側にあって、写真からは受け取れないものの例を示すため。
イ　写真を撮るときに気をつけるべきことを示すため。
ウ　知らない町を歩くときの危険を示すため。
エ　写真よりも、音やにおいのほうが大切だと主張するため。

ア

問三（十点）　筆者は、本や記事、人から聞いた話にも必ず入っているものは何だと述べていますか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

伝	え	た	人	の	選	び	方		

問四（十点）　筆者が「問題」だと考えていることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　情報を通して世界を知ろうとすること。
イ　遠い国や昔のことを知ろうとしないこと。
ウ　借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこむこと。
エ　写真や記事が、いつも正確でないこと。

ウ

問五（十点）　筆者の考える「自分の目で見る」とは、どういうことですか。六十字以内で説明しなさい。

情	報	が	誰	か	の	選	択	を	通	っ	た	も	の	だ	と	意	識	し	、
伝	え	ら	れ	な	か	っ	た	こ	と	を	問	い	な	が	ら	、	自	分	で
も	選	び	直	し	て	み	る	こ	と	。									

月　日　名前　　／50点　　合計　／100点【答え】

【中3】国語 文章テスト　物語文 2/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

卒業アルバムの写真撮影の日、私はクラスの集合写真のいちばん端に立った。真ん中に立つのは、いつも同じ顔ぶれだった。明るくて、よく笑う、クラスの中心の人たちだ。

「端っこ、もうちょっと寄って。」

カメラマンに言われて、私は半歩だけ内側に動いた。隣にいたのは、あまり話したことのない中村さんだった。

中村さんも、私と同じように、いつも静かに本を読んでいる人だった。

撮影が終わってから、私は中村さんに話しかけてみた。三年間、同じクラスだったのに、話したのはそれがほとんどはじめてだった。

「いつも、何の本を読んでるの。」

中村さんは少し驚いた顔をして、かばんから一冊の本を出した。私の好きな作家の本だった。私たちは、その作家のどの作品が好きかで、休み時間が終わるまで話しこんだ。中村さんは、話すとよく笑う人だった。

その日から卒業までの一か月、私たちは毎日のように本の話をした。本を貸し合い、感想をノートに書いて交換した。

卒業式の前の日、できあがったアルバムが配られた。集合写真の端に、少しかたい顔で並ぶ私と中村さんが写っていた。まだ話したことのなかった、あの日の二人だ。

「もっと早く話しかければよかったね。」中村さんが言った。

私はうなずきかけて、それから首を振った。

「でも、この写真を撮った日に話しかけたから、今があるんだよ。」

写真の中の二人は、まだおたがいのことを何も知らない顔をしている。私は、その端っこの写真が、アルバムの中でいちばん好きになった。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　撮影の日、私は集合写真のどこに立ちましたか。本文中から五字以内で抜き出しなさい。

いちばん端

問二（十点）　「中村さんは、話すとよく笑う人だった」とありますが、この一文から分かることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　中村さんは、静かに見えて、実は明るく親しみやすい人だったということ。

イ　中村さんは、私のことをばかにしていたということ。

ウ　中村さんは、クラスの中心の人たちと仲がよかったということ。

エ　中村さんは、本を読むのが好きではなかったということ。

ア

問三（十点）　私と中村さんが、卒業までの一か月にしたことを、本文中から二十五字以内で抜き出しなさい。

本を貸し合い、感想をノートに書いて交換した

問四（十点）　「もっと早く話しかければよかったね」という中村さんの言葉に対して、私が首を振ったのはなぜですか。六十字以内で説明しなさい。

後悔するよりも、写真を撮ったあの日に話しかけたからこそ今の二人の関係があるのだと、あの日を大切に思っているから。

問五（十点）　私がその端っこの写真を「いちばん好きになった」理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　自分がいちばんきれいに写っている写真だから。

イ　中村さんと友だちになるきっかけの日の写真で、二人の関係の始まりが写っているから。

ウ　クラスの中心の人たちが、よく写っている写真だから。

エ　中村さんとの思い出を、早く忘れたいから。

イ

【中3】国語 文章テスト（100点）　説明文 1/2　答えと解説（1問の配点は問題の半分）

問一（十点）　答え：撮った人の目を通して選ばれた

解説：第二段落の最後の一文が根拠。「撮った人が選んだ向きから、選んだ瞬間を切り取ったもの」という説明をまとめた言葉。

問二（十点）　答え：ア

解説：「写真の外側にあるもの、たとえば～は入っていない」が根拠。「たとえば」の後は、直前の「写真の外側にあるもの」の具体例。

問三（十点）　答え：伝えた人の選び方

解説：第三段落の「そこには必ず、伝えた人の選び方が入っている」が根拠。続く「何を伝え、何を伝えなかったかという選択」は、その言いかえ。

問四（十点）　答え：ウ

解説：第四段落の最後「問題は、借りた目で見たものを、自分の目で見たものと同じだと思いこんでしまうことである」が根拠。アは「大切だ」と筆者が認めていること。

問五（十点）　答えの例：情報が誰かの選択を通ったものだと意識し、伝えられなかったことを問いながら、自分でも選び直してみること。

解説：最後の段落が根拠。「ただ現地に行くことではない」と否定したうえで述べている。写真・記事の問いかけは、「伝えられなかったこと」の具体例。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①受け取った情報は、誰かの選択を通ったものだと意識する

②伝えられなかったこと（写らなかったもの・書かれなかったこと）を問い、自分でも選び直す

【中3】国語 文章テスト（100点）　物語文 2/2　答えと解説（1問の配点は問題の半分）

問一（十点）　答え：いちばん端

解説：第一段落が根拠。真ん中に立つ「クラスの中心の人たち」と対比されている。

問二（十点）　答え：ア

解説：第三段落の「いつも静かに本を読んでいる人」と比べて読む。話してみて初めて分かった一面を表している。

問三（十点）　答え：本を貸し合い、感想をノートに書いて交換した

解説：第七段落が根拠。「毎日のように本の話をした」に続けて、具体的にしたことが書かれている。

問四（十点）　答えの例：後悔するよりも、写真を撮ったあの日に話しかけたからこそ今の二人の関係があるのだと、あの日を大切に思っているから。

解説：私の言葉「でも、この写真を撮った日に話しかけたから、今があるんだよ」が根拠。「うなずきかけて」とあるので、早く話せばよかったという気持ちも少しはあったが、それより今を大切にしたいという思いが勝っている。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①あの日に話しかけたから、今の関係がある

②後悔よりも、あの日を大切に思っている

問五（十点）　答え：イ

解説：「まだおたがいのことを何も知らない顔をしている」が根拠。その日に話しかけたから今がある、という私の言葉とつながっている。